

新型コロナウイルス感染症による空間ニーズへの対応

現在、世界的に感染拡大が続く新型コロナウイルス感染症により、今年度の日本経済は4月から大きく影響を受けました。4月7日に7都府県に緊急事態宣言が発出されると、4月16日には全国へと拡大され、外出自粛要請や営業時間の短縮により企業活動は大幅な制限を余儀なくされ、経済は停滞いたしました。

当社においても当初は営業活動が停滞することを想定しておりましたが、4月以降も全国の展示場にたいへん多くのお客様にご来場いただく状況が続き、当上半期の来場者数は前年度に比べ20%を超える増加となりました。

また当社ホームページについても、アクセス数は前年度に比べ50%近い増加となり、問い合わせ件数についても、デジタルカタログの導入やLINE、チャットといったアクセス方法を整備したことも加わり、前年度に比べ30%を超える増加となりました。

お問い合わせが増加したのは、新型コロナウイルスに対応するために社会環境が急激に変化し、それに伴って、空間を広げる、あるいは分割して利用するというニーズが高まったことによるものです。

空間を広げるニーズとしては、職場のスペースを広げるため、周りの書類や荷物を保管する倉庫を購入された例や、学生寮で複数人数の部屋から個室へと変更を検討される例などがありました。また、工業プラント内の定期修繕工事時に使用する事務所について、ソーシャルディスタンスを確保するため1人当たりの使用面積を広げ、以前よりも広い間取りとされるなど、出荷棟数の増加につながる例もみられております。

空間を分割するニーズとしては、病院の発熱外来棟や、PCR検査棟、院内感染を防ぐために医療従事者が利用する別空間



キャンプ場施設



飲食販売店外観



病院外観



病院内観

を増設するなど、医療関係の問い合わせを多数いただいております。個人のお客様からは、ご自宅の庭に事務所や在宅勤務用のスペースを設置するお話や、子供達のオンライン学習用に別棟を用意する、あるいは運動不足解消のために専用のジムを建てたいというお問い合わせもいただきました。なかには、家族が新型コロナウイルスに感染した場合に備えて別棟を建てるとのご要望もございました。

販売やレンタルだけでなく、当社内のスペースをお客様にご利用いただくレンタルスペースの店舗も好評いただいております。2019年4月に開設したレンタルスペース茶屋ヶ坂駅前店に続き、2020年5月にレンタルスペースつくば店を開業し、サービスを開始いたしました。つくば店はつくば総合展示場の中にモデルルームを兼ねて設置しており、SOHOモデルやキッチンをついたカフェモデル、ガレージも合わせた大空間ルームなど、多くのタイプを設けております。お客様にご覧になっていただくだけでなく、実際に利用して体感していただく、当社展示場の新たな取り組みの一環でもあります。

新型コロナウイルスの感染拡大に対応するため在宅勤務が広がるなか、ワーキングスペースとしてご利用されるほか、ご自宅や外出先では行いにくいオンラインでの打ち合わせを行う場所としても活用されております。企業のオンライン面接を受けるためにご利用される方もいらっしゃいました。

社会環境の大きな変化により、空間のニーズも大きく変化してまいりました。今後も当社が得意とする様々な空間のサービスをご提供することで、お客様や社会に対して貢献していけるものと確信しております。



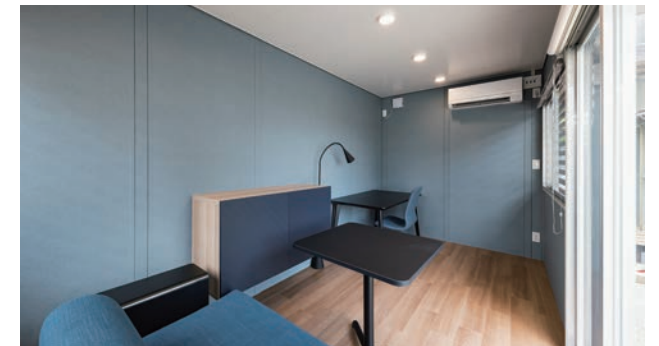
宇都宮中今泉店外観



宇都宮中今泉店内観



レンタルスペースモデルルーム



レンタルスペースオフィスタ입内観